

# 算数科学習指導案

授業日 令和4年11月25日

学習者 1年2組 35名

授業者 寺町 友香

## 1. 単元名「ひきざん」

## 2. 単元の目標

11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を理解し、計算の仕方を操作や図を用いて考える力を養うとともに、計算の仕方を操作や図を用いて考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。

## 3. 単元の評価規準

知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算が、「10といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできる。	数の構成に着目し、11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現している。	11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方について、「10といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

## 4. 単元計画と学習評価（全10時間）

時	学習内容	主・対・深	学習評価（知・思・主）〈方法〉
1	・13-9の計算の仕方を考える。	  	・学習のめあてや既習の減法計算を振り返ることで見通しをもち、進んで自分の考えを表そうとしている。(主)〈ノート・観察〉 ・既習の加減計算や「10といくつ」という数の見方を基にした13-9などの計算の仕方を理解し、その計算ができる。(知)〈発言〉
2 (15時)	・操作や図を用いて、13-9の計算の仕方を説明する。	 	・13-9などの計算の仕方を、数の見方(10といくつ)を活用して、操作や図を用いて考え、説明している。(思)〈発言・交流・ノート〉
3	・減数が8や7の場合の計算の仕方を考える。		・減加法による計算が確実にできる。(知)〈発言・ノート〉
4	・減数が9～5の場合の計算練習に取り組む。		・減数が8～5の場合でも、10のまとまりから1位数をひいて計算すればよいことを考え、説明している。(思)〈発言・交流・ノート〉
5	・12-3の計算のしかたを考える。	 	・1位数をどこからひくかに着目して計算の仕方を考え、操作や図などによって説明している。(思)〈発言・交流・ワークシート〉
6	・11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算で、自分が計算しやすい方法で、計算練習をする。		・11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算は、被減数を10のまとまりといくつに分けて考えればよいことを理解し、その計算ができる。(知)〈発言・ノート〉
7 (9)	・計算カードを用いたいろいろな活動を通して、11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の練習をする。	  	・11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算が確実にできる。(知)〈発言・交流・ノート〉 ・計算カードの並び方について、被減数が1増えると減数も1増える、という関数的な見方に気づき、数の関係を説明している。(思)〈発言・交流・ノート〉
10	・学習内容の定着を確かめるため、問題に取り組む。	 	・基本的な問題を解決することができる。(知) ・単元の学習を活用して問題の解決の仕方を考え、説明している。(思) ・単元の学習で考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じている。(主)

5. 単元の学習のめあて

あたらしいひきざんの けいさんのしかたを かんがえよう。

6. 本時でめざす子どもの姿

○操作や図を用いて、 $13 - 9$ の計算の仕方を説明している。

(思考・判断・表現)〈発言・交流・ノート〉

7. 「対話的な学び」への手立て

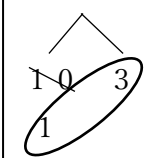


○多様な表現方法で考えを交流する場の設定。

・ブロック、図、式、言葉など様々な方法から選んで説明する。

・多様な手段であっても、共通点を見つけ、それぞれの考えをつなげたり深めたりする。

8. 本時の学習展開 (2 / 10)

	児童の学習活動	評価□・留意点※
導入 5分	<p>○前時の振り返りをする。</p> <p>○問題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>㉔ どんぐりが13こあります。9こつかいました。 どんぐりは、なんこのこっていますか。</p> </div>	
展開 25分	<p>○本時の課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>㉕ <math>13 - 9</math>のけいさんのしかたをかんがえ、せつめいしよう。</p> </div> <p>○自分の考えを確認する。(個人)</p> <p>○考えを説明し合う。(ペア)</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・自分の考えを説明する。 ・自分の考えと友達のを比較しながら聞く。 <b>【対話的な学び】</b></p> </div> <p>○考えを伝え合い、気付いたことを交流する。(全体)</p>	<p>※ブロック、図、式、言葉などを使って考える。</p> <p>※ペア交流では、自分と友達の考えを比較しながら交流する。</p> <p>□ <math>13 - 9</math>の計算の仕方を、数の見方(10といくつ)を活用して操作や図を用いて考え、説明している。 (思)〈発言・交流・ノート〉</p> <p>※全体交流では、いろいろな意見を聞いて似ているところなどを交流する。</p>
終末 15分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>㉖ <math>13 - 9 = 4</math></p>  </div> <p>① 13を10と3にわける。 ② 10から9をひいて1。 ③ 1と3で4。</p> <p>○適用問題に取り組む。教科書78ページ㉗ <math>12 - 9</math></p> <p>○本時の振り返りをする。</p>	<p>※振り返りの視点を提示する。</p>